

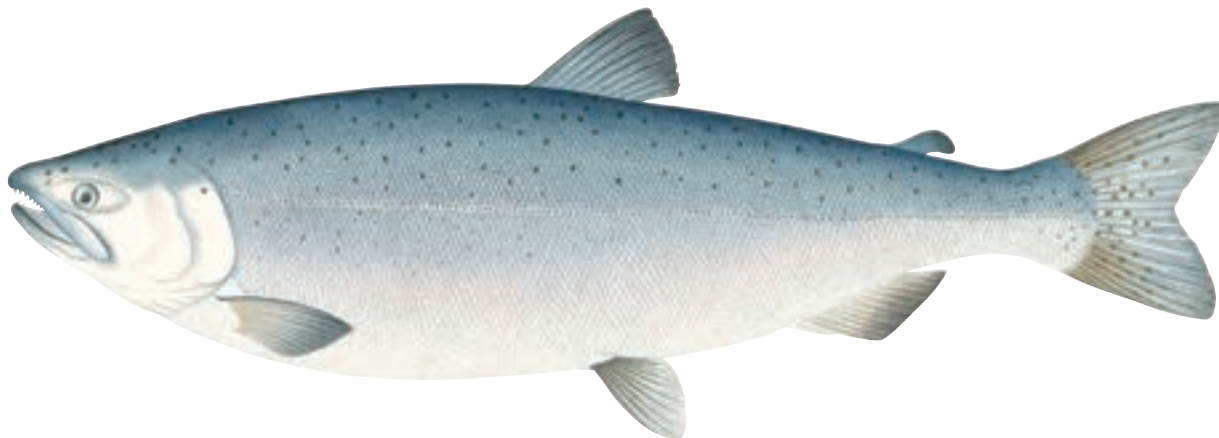


# NISSUI REPORT

## 第102期 株主通信

2016.4.1 ▶ 2017.3.31

トップインタビュー	P1	EPAのすすめ	P9
セグメントの概況	P3	株主優待制度のご案内	P11
財務情報	P6	会社情報/株式の状況	P13
NISSUI TOPICS	P7	株主インフォメーション	P14



**ギンザケ** *Oncorhynchus kisutch* (Walbaum) 全長1.08m ■分類:サケ目/サケ科/サケ属 ■分布:沿海州中部以北の日本海、オホーツク海、ベーリング海、北太平洋

arita

鋤骨・口蓋骨の歯帯は小字型。体の背面と尾鰭の上縁に黒点が散在する。頭部背面に小黒点が散在する。下顎歯基底部は白い。

日本水産株式会社

## これまで蓄積した知見と技術力をもとに 水産資源の新しい価値を創造し続けるグッドカンパニーへ



日本水産株式会社  
代表取締役 社長執行役員  
最高経営責任者 (CEO)

久木 伸介

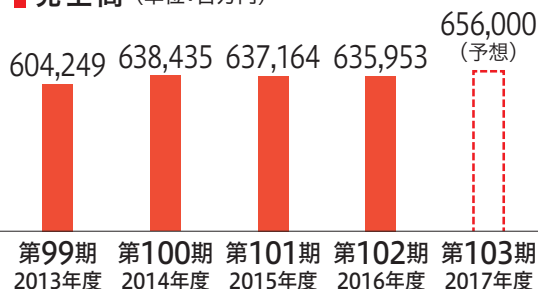
### Q 社長就任にあたっての 抱負について教えてください。

まずは、2017年度が最終年の中期経営計画MVIP 2017をしっかりと仕上げ、今までの流れを踏襲しつつ新しい価値を付け加えていくことが私の仕事だと考えています。その意味で次の中計は、成長するポイントを明確にすると同時に、規模を追うのではなく、商品や技術力に尖りを持った良い会社をめざしたいと考えています。社内の力を結集して色んなアイデアを出し合って、皆で考えよく話し合っ、「現実的でチャレンジングな事業活動」を進めてまいります。

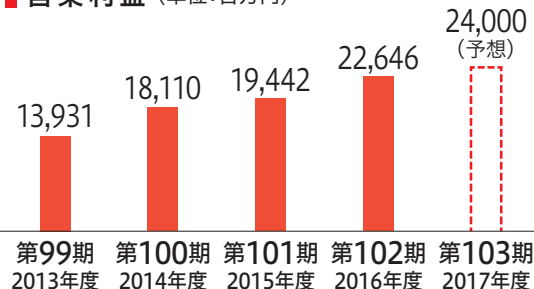
日本を代表する水産会社として、海洋資源の持続的利用などの社会課題への取り組みを進めながら、EPA

### 連結業績ハイライト

#### ■ 売上高 (単位:百万円)



#### ■ 営業利益 (単位:百万円)



も含めた、おいしい商品を提供することを通じて「健康」をサポートし、高齢化社会にもお役立ちできる会社にしていきたいと考えています。

また、グループに働く皆様の意見を取り入れ、生き生きとしたやりがいのある職場をめざし、誇りをもって働けるニッスイにしていきたいと考えています。

## Q 主要成長戦略に挙げている海外事業の拡大について教えてください。

当社グループにおいては、北米とヨーロッパでは、既に一定の事業規模を有し、グループ会社間で連携しながらも、経営の主体は各社に委ね、現地で生産したものを現地のブランドで販売しています。それぞれの会社が、各地にて専門性をもって取り組んでいることが、欧米グループ会社の強みだと考えています。

やや遅れているアジアですが、様々な国があり、もう少し調査や分析を行い、中長期的には、アジアで生産したニッスイブランドの商品を、現地で販売していく形にしていきたいと考えています。世界地図を埋めることを目的とするではありませんので、どの地域で、どういう会社と取り組むことが企業価値向上につながるかという視点を大切にしていきます。

## Q 主要成長戦略に挙げているファインケミカル事業の取組状況について教えてください。

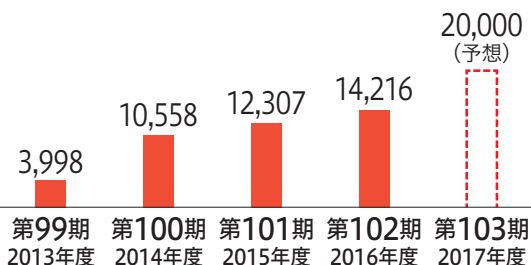
現中計の一環として、総額80億円を投じた「ファインケミカル総合工場鹿島医薬品工場」が、5月11日に竣工しました。この新工場は、今後予測される国内外のEPA医薬品市場の拡大に備えて、特に海外への医薬品供給には不可欠のcGMP\*基準による品質・生産管理を実施し、世界最高水準の品質と生産性を追求します。同工場をしっかりと立ち上げ、原料の魚油から製品まで一貫して取り組むニッスイ独自の供給体制のもと、世界一のEPA原体メーカーをめざしてまいります。

\* cGMP(Current Good Manufacturing Practice): 現行適正製造基準

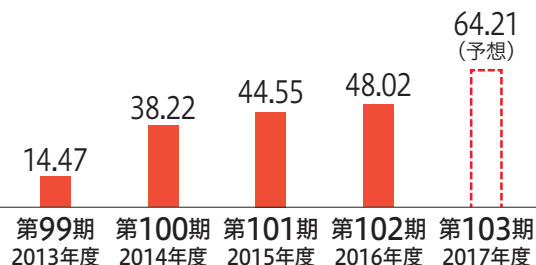
## Q 株主還元について教えてください。

配当性向については、将来的には30%以上をめざしたいと考えていますが、一方で、様々な経営環境の変化が予想され、一層の財務体質の強化は必要と考えております。現中計期間中の配当性向は10%~15%を目標とし、2016年度は1株当たり5円の配当を6円に増配(配当性向12.5%)といたしました。また、2017年度は8円の配当を予想しております。今後も収益性を高め皆様のご期待に応えてまいりたいと存じます。引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)

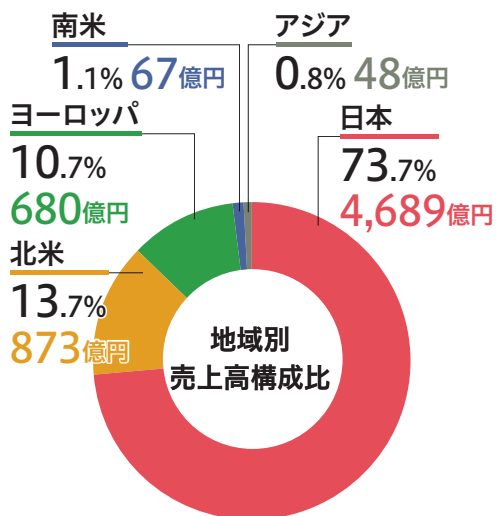
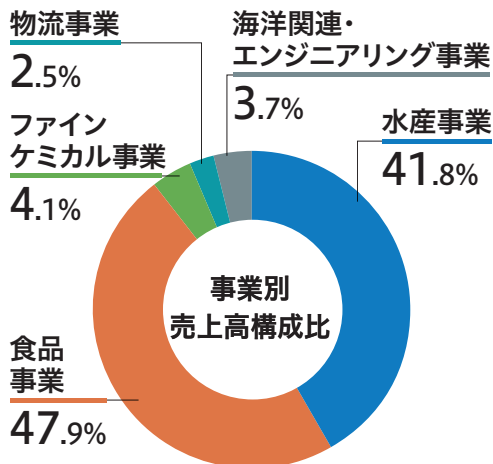


### ■ 1株当たり当期純利益 (単位:円)



## セグメントの概況

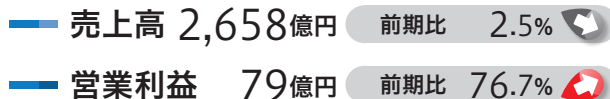
### 売上高構成比



## Marine Products Business

# 水産事業

漁業・養殖生産から加工、販売まで一貫して行い、水産資源の新しい価値を創出します。



南米事業は鮭鱒の魚価が回復したことに加え、国内事業は順調に推移したことで減収・増益。

海外では、南米の鮭鱒養殖事業で、赤潮の発生により養殖コストが増加しましたが、販売価格が急速に回復し在池魚評価も好転したこともあり大幅な増益となりました。

国内では、漁撈事業で修繕費や原油安による燃料費の減少に加え、かつおやぶりなどの漁獲が好調でした。養殖事業では、まぐろの販売価格が下落したことに加え、ぶりの販売数量減少や鮭鱒の養殖コストの増加などがありました。加工・商事事業ではえびやすりみなどの販売が好調に推移したことで、国内の水産事業全体では増益となりました。引き続き、養殖の高度化や加工度を高めた商品の拡充、在庫コントロールなど、安定した利益を出し続ける事業構造への改革を進めてまいります。

# 食品事業

よりおいしく、より便利に。  
生活者に向けて多様な価値を創造し続けます。



売上高	3,044億円	前期比	0.7%	▲
営業利益	111億円	前期比	9.1%	▲

北米事業は苦戦したものの、  
ニッスイ個別、チルド事業が好調に  
推移したことで増収・増益。

海外では、北米で家庭用冷凍食品会社での最需期となる第1四半期の販売不振を通期でカバーできず苦戦しましたが、ヨーロッパで販売数量が増加しました。国内では、ニッスイ個別において、円高の影響による原材料や加工製品などの輸入コストの減少などに加え、家庭用冷凍食品・業務用冷凍食品・練り製品の販売が好調に推移しました。また、コンビニエンスストア向けのサラダや惣菜の製造を行うチルド事業も伸長しました。今後も「おいしさ」と「便利さ」を追求するとともに、機能性表示食品など新しい商品でも拡大を進めてまいります。

# ファインケミカル事業

いわしやさばに多く含まれ、動脈硬化を防ぐ作用がある「EPA\*1」の研究・開発を軸に、医薬品原料、健康食品などへの応用を進めています。



売上高	257億円	前期比	0.4%	▲
営業利益	39億円	前期比	14.2%	▲

後発品使用促進策による  
医薬品原料の販売苦戦に加え、通信販売の  
伸び悩みにより増収・減益。

医薬品原料において、政府による後発品の使用促進策の影響を受け、販売数量が減少し苦戦しました。子会社で扱う臨床診断薬や産業検査薬などにおいて、販売が順調に推移したものの、製造原価などのコストが上昇しました。

EPA分野におけるリーディングカンパニーとして、高品質・高付加価値商品の開発に取り組み、他社の機能性表示食品や健康食品へのEPA・DHA\*2の原料販売を強化するとともに、医薬品原料の海外展開を進めてまいります。

\*1 EPA：エイコサペンタエン酸 \*2 DHA：ドコサヘキサエン酸

## Logistics Business

## 物流事業

冷凍保管、凍結および冷蔵貨物の運搬を行い、ニッスイが担う各事業をサポートしています。



日水物流 大阪舞洲物流センター

売上高 159億円 前期比 5.2%

営業利益 17億円 前期比 3.0%

大阪舞洲物流センターが新たに稼働したものの、減価償却費の負担増などで増収・減益。

大阪舞洲物流センター新設により売上高は増加したものの、減価償却費および開設初期費用の発生などにより減益となりました。

今後も、大阪舞洲物流センターを関西の新たな拠点として位置づけ、今まで蓄積してきた運営ノウハウを活かし、ニッスイグループの冷蔵物流事業の拡大をめざしてまいります。

## 事業別売上高・営業利益明細

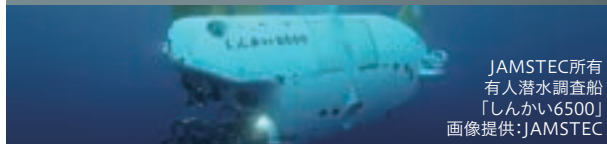
区分	第101期[2015年度] (百万円)		第102期[2016年度] (百万円)		前年比増減率(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
■水産事業	272,740	4,498	265,869	7,949	△2.5	76.7
■食品事業	302,324	10,182	304,487	11,112	0.7	9.1
■ファインケミカル事業	25,683	4,633	25,796	3,976	0.4	△14.2
■物流事業	15,187	1,854	15,982	1,799	5.2	△3.0
計	615,936	21,168	612,135	24,837	△0.6	17.3
■海洋関連・エンジニアリング事業	21,228	621	23,817	635	12.2	2.2
計	637,164	21,790	635,953	25,472	△0.2	16.9
消去又は全社	—	△2,347	—	△2,826	—	—
合計	637,164	19,442	635,953	22,646	△0.2	16.5

(注) 1.第101期は、水産事業と食品事業間で業務の一部を移管したため、売上高および営業利益を組み替えております。 2.「売上高」は外部顧客に対する売上高を記載しております。 3.「消去又は全社」は、各セグメントに配賦不能の営業費用であります。

## Other Business

## 海洋関連・エンジニアリング事業

船舶の建造・修繕やエンジニアリングなどの多岐にわたるニッスイの事業フィールドを支えています。



JAMSTEC所有  
有人潜水調査船  
「しんかい6500」  
画像提供:JAMSTEC

売上高 238億円 前期比 12.2%

営業利益 6億円 前期比 2.2%

海洋資源の探索・調査や日本初の民間海洋サバイバル訓練施設運営などにも携わっています。

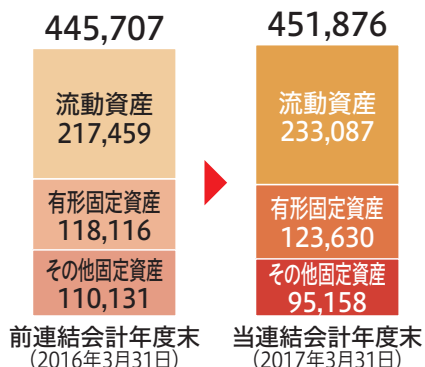
海洋関連事業は、これまで培った海洋関連技術と人材を活かし、船舶の建造・修繕に加え、海洋・深海の調査船・探査機の運航管理を受託、地球環境問題の解明や、地震津波の研究・資源探査の技術向上にも貢献しています。

エンジニアリング事業は、加工工場や物流・冷蔵倉庫などの建設や、設備機器の企画設計から施工までを行っています。海洋関連・エンジニアリング事業は、増収・増益となりました。

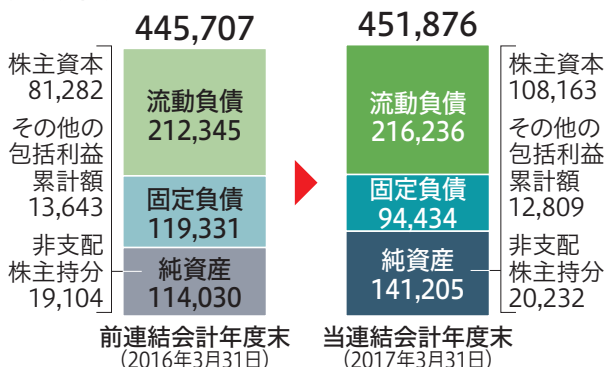
## 第102期 連結決算データ

### ■ 資産・負債・純資産の状況 (単位:百万円)

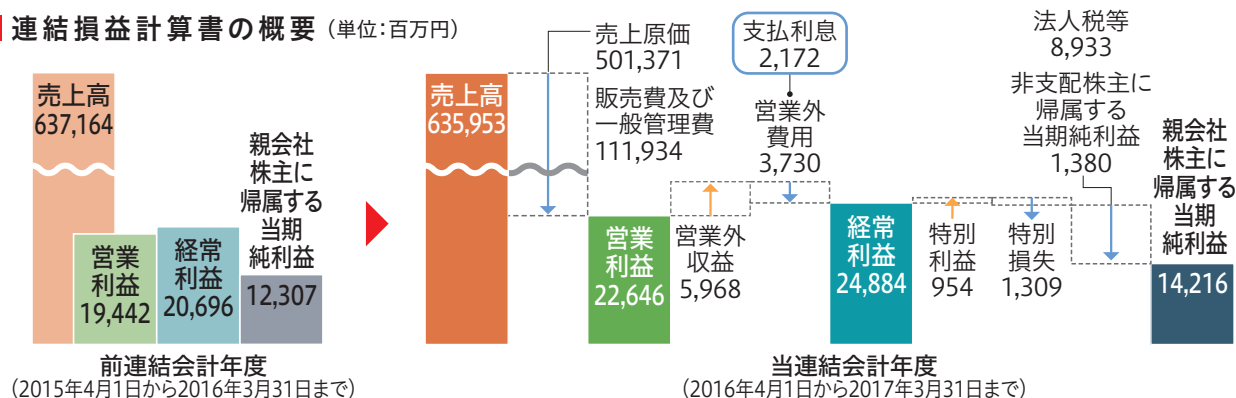
#### 資産合計



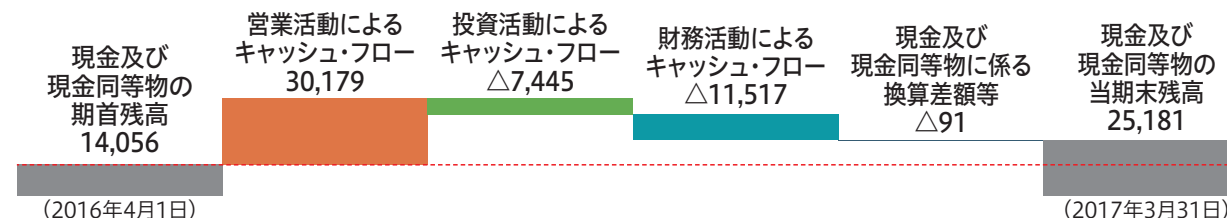
#### 負債・純資産合計



### ■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



### ■ キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



# NISSUI TOPICS

## 「健康経営宣言」

私たちニッスイグループは、従業員が最も重要な財産であると考え、「一人ひとりが、能力を十分に発揮できる姿」と「従業員とその家族のQOL(生活の質)の向上」をめざして、働く環境を整え、「こころと身体の健康」を積極的にサポートします。

海の恵みを扱う企業として、健康的な食の提案とともに水産物由来の機能性成分を最大限に活用し、従業員と家族、さらに広くお客様にお届けすることで人々の健康に貢献します。

当社はCSR行動宣言において、当社を取り巻く「お客様」「従業員」「ビジネスパートナー」「環境」「株主」「社会」の6つのステークホルダーに対し、CSR行動を定めています。とりわけ「従業員」の活躍は企業の成長に不可欠と考えています。そのため従業員の健康の維持・増進を経営上の最重要課題と位置づけ、2017年2月23日に「健康経営宣言」を定め、取り組みを開始しました。

### 社内の取り組み

従業員の健康管理の施策の一つである「生活習慣病の予防」において、EPAを活用した従業員の健康改善に取り組んでいます。

#### 1.「イマークS100日チャレンジ」(実施期間:2017年2~5月)

- EPA/AA比\*が一定値以下の従業員を対象に、会社負担で当社品「イマークS」(EPAのトクホ飲料)を100日間飲用してもらい、EPA/AA比の改善を図る。

\* EPA/AA比:

EPAとAA(アラキドン酸)の体内バランスを示す比率。

#### 2.「EPA健康マイレージ キャンペーン」(実施期間:2017年3~5月)

- 従業員を対象に、EPA含有の当社商品の購入に対して「マイル」を付与し、貯まったマイルに応じて賞品を進呈する。

#### 3.「健康番付(部署別・個人別)」

- 部署単位で、所属従業員のEPA/AA比の平均値による番付表を社内公開する。
- 予めエントリーした従業員のうち、EPA/AA比が高い人および前年比で大きく改善した人の各々トップ5に賞品を進呈する。

### 社外との取り組み

- 健康寿命日本一をめざす  
神奈川県とタイアップ

啓蒙ビデオおよびリーフレットを作成しました。



- 5/18よりFacebookに菊池雄星選手(野球)が登場



EPAの効果・効能の実感コメントをいただきました。

<https://www.facebook.com/sportsepa/>





## 養殖から加工まで 一貫体制を構築した「境港サーモン」

2011年3月の東日本大震災によって、宮城県の三陸地域を拠点に展開していたギンザケの養殖事業に壊滅的な被害を受けました。再建も検討しましたが、海水温など魚の成長を促すのに最適な条件に加えて、鳥取県からの招へいもあり、境港市に面する美保湾で再開いたしました。県内にそびえる名峰・大山の麓は、湧き出る豊富な伏流水の水温がギンザケの孵化場、淡水養殖場を設置するのにも最適な地域で、2015年4月には、加工施設となる新工場も稼働を始め、養殖から加工までを一貫管理する生産体制を構築しました。日本海の荒海で育った「境港サーモン」は身がしっかりしていて歯ごたえが十分、刺身で食べておいしいと高い評価を得ています。

新日鉄住金エンジニアリング株式会社と協力し、  
大規模沖合養殖システムの海洋実証試験を実施中



## DBJ Green Building認証\*を取得した 最先端の物流拠点

2016年4月、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンからほど近く、阪神高速湾岸舞洲ICから約1.6kmの大阪・舞洲に、ニッスイグループの新しい物流拠点を開設しました。大阪湾最低潮位+8.0m以上を確保した高い地盤に、減衰性能を有した免震構造を採用するなど、地震や津波に強く、自然冷媒の使用による高い省エネ性、独自の建物構造による物流の効率化を実現し、DBJ Green Building認証において、最高評価(5Stars)を受けた最先端の物流拠点です。



DBJ Green Building  
2016

### \* DBJ(日本政策投資銀行) Green Building認証:

環境・社会的側面について不動産価値への反映を目指し、中長期的には不動産としてのGreen Buildingが評価される不動産金融市場の整備・育成に貢献していくことを目的とした金融機関としては日本初の取り組み。環境性能、テナント利用者の快適性、リスクマネジメント、周辺環境・コミュニティへの配慮、ステークホルダーとの協働の5つの視点から評価し、スコアリング結果に基づき5段階の認証を付与される。

## 50年以上の歴史を持つ

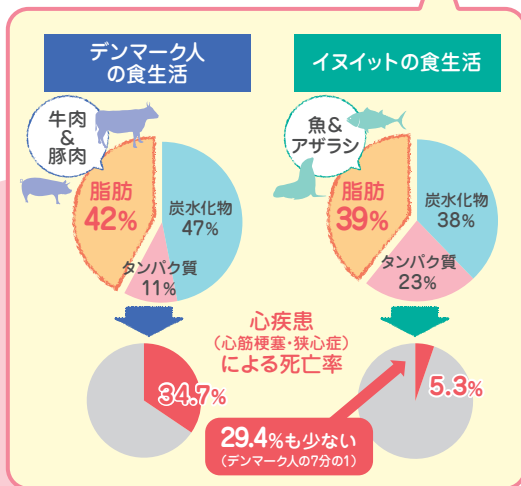
# EPAの誕生ストーリー

イヌイットたちの食生活にヒントが！

グリーンランドの先住民イヌイットには心血管系の病気が少なく、デンマーク人に比べて死亡率が低いことが判明。その理由として注目されたのが、彼らの主食である魚やアザラシに豊富に含まれるEPAの働きでした。

血漿（けっしょう）脂質中の[EPA]含量

	デンマーク人	イヌイット
リン脂質	0.2%	7.1%
コレステロールエステル	0.0%	15.4%
トリグリセリド	0.0%	4.0%



1960年代  
デンマークでの疫学調査でEPAの働きに注目

1970年代  
千葉大学×ニッスイ EPA研究が日本でもスタート



漁村と農村でもEPA量と死亡率に差が！

千葉県内の漁村と農村でそれぞれEPAの血中濃度を調べてみると、魚を多く食べる漁村の人々には農村に比べて約3倍のEPA摂取量があり、血管の病気も少ないというデータが出ました。

## 世界初、高純度EPAの精製技術を確立

EPAの働きに関する結果をもとに、医薬品開発を目指した取り組みがスタート。10年以上にわたる研究の末、EPAが豊富なイワシ油から精製した高純度EPAの医薬品化に、持田製薬株式会社と共同で世界で初めて成功しました。

## 1980年代

世界初！  
高純度EPAの  
医薬品を開発

## ますます広がりを見せるEPAパワー

EPAの有用性をもっと多くの方に役立ててもらえるよう、医薬品はもちろん、手軽に摂取できる各種健康食品の開発にも着手。特定保健用食品の飲料や粒タイプのサプリメントなど、様々なEPA関連商品が誕生しています。

## 1990年代

ニッスイ  
医薬品から  
健康食品まで  
幅広く活用

健康成分

EPAって  
一体なに

## 青魚のEPAとお肉のAA

主に青魚に多く含まれるEPA(エイコサペンタエン酸)は、体内で作ることができない「必須脂肪酸」の一種。一方、同じ必須脂肪酸でも、肉などの動物性脂肪に多く含まれているAA(アラキドン酸)とは形が似ていますが、働きが異なります。

## 青魚の「血液サラサラ効果」はEPAの働きです

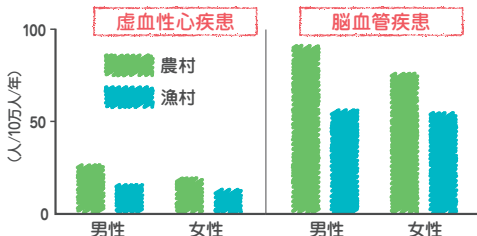
**DHA** 乳幼児の脳や神経の発達に必要

**EPA** 血液・血管の健康維持に重要

EPAは体内でDHAに変換することも！

子供にはDHA、成人にはEPAが大切です！

千葉県内でEPA疫学調査を実施(1980～82年)  
漁村と農村の主な成人病死亡率(1977～80年)



【動脈硬化の発症と多価不飽和脂肪酸】

第3回心臓血管薬物治療法国際会議サテライト・シンポジウム  
講演記録集 1989年10月19日 (Medical Tribune)より転載

ご存知  
でしたか？

# 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援、ご愛顧に感謝するとともに、より多くの株主の皆様にご理解を一層高めていただき、中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として株主優待制度を導入いたしました。

## 対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上を保有されている株主様を対象といたします。

▼ 株主優待がスタートする今回の

## 1 保有株数 500株以上1,000株未満の株主様対象の3,000円相当の当社商品

### A イマークS (特定保健用食品)



内容 100ml×10本

### B びん詰・缶詰セット



#### 内容

焼さけあらほぐし	1びん
とりそぼろ	1びん
スルツとフタ	
さば水煮減塩国内原料使用	1缶
スルツとフタ	
さばみそ煮減塩国内原料使用	1缶
スルツとフタ	
さば味付減塩国内原料使用	1缶
機能性表示食品炙り鯖梅だれ	1缶
機能性表示食品炙り鯖塩焼き	1缶
EPA+ 豆乳クッキー	
サクサク食感チーズ味	2個
EPA+ 豆乳クッキー	
サクサク食感焦がしキャラメル味	2個
EPA+ 豆乳クッキー	
チョコレート味	2個

### ○イマークS(特定保健用食品)



血中中性脂肪が気になる方に適した特定保健用食品(トクホ)です。

通常「脂肪」と呼ばれるもののほとんどが中性脂肪に含まれます。中性脂肪は体に必要なもので、「体温を保つ」「内臓を守る」「エネルギー源」など、人間が活動するために必要な存在です。ただし、適度に消費されないと体内に体脂肪として蓄積され、増えすぎると健康を脅かします。

「イマークS」の主成分は、海の恵みのサラサラ成分『EPA』です。EPAはイワシやサバなど青魚に多く含まれ、**血中中性脂肪を低下させる作用**があります。「イマークS」には、**1本あたりEPA600mgとDHA260mg**が含まれます。EPAを主成分とする「イマークS」は、消費者庁の審査を受け、血中中性脂肪を低下させる作用のある**特定保健用食品**として許可を取得しています。

### ○びん詰・缶詰セット

#### スルツとフタ

缶詰のふたをシールをはがす感覚で、『スルツ』とふたが開けられる!商品です。

シールをはがすように簡単にオープンでき、**どなたでも開けやすく、ふたの開け口で手を切らない安全設計**です。

国内で水揚げされた新鮮なサバを使用した商品を取り揃えました。

## 株主優待の内容

下記のとおり、保有株数に応じて、当社商品をお選びのうえお申込みいただきます。

① 保有株数 500株以上1,000株未満の株主様  
3,000円相当の当社商品2品から選択

② 保有株数 1,000株以上の株主様  
5,000円相当の当社商品2品から選択

選択商品は下記のとおりです。▼

## ② 保有株数 1,000株以上の株主様対象の5,000円相当の当社商品

### A イマークS (特定保健用食品)



内容 100ml×20本

### B びん詰・缶詰セット



内容	
焼さけあらほぐし	2びん
とりそぼろ	2びん
スルッとフタ	
さば水煮減塩国内原料使用	2缶
スルッとフタ	
さばみそ煮減塩国内原料使用	2缶
スルッとフタ	
さば味付減塩国内原料使用	2缶
機能性表示食品炙り鯖梅だれ	3缶
機能性表示食品炙り鯖塩焼き	3缶
EPA+ 豆乳クッキー	
サクサク食感チーズ味	2個
EPA+ 豆乳クッキー	
サクサク食感焦がしキャラメル味	2個
EPA+ 豆乳クッキー	
チョコレート味	2個

### 機能性表示食品 炙り鯖

中性脂肪を下げる効果のあるEPA・DHAを含む機能性表示食品です。国内で水揚げされた新鮮で一定の脂質含量以上のサバを厳選することで機能性表示食品として受理されました。1缶で500mgのEPA・DHAが摂取できます。



### EPA+(エパプラス)豆乳クッキー

話題のオメガ3(n-3系脂肪酸:EPA・DHAなど)を配合した栄養機能食品の豆乳クッキーです。

オメガ3は、皮膚の健康維持を助ける栄養素です。オメガ3を気軽に手軽に摂取できる商品です。オメガ3(n-3系脂肪酸:EPA・DHAなど)を600mg配合した商品を取り揃えました。



# 会社情報 / 株式の状況 (2017年3月31日現在)

## 会社概要

社名 日本水産株式会社  
 創業 明治44年(1911年)  
 設立 昭和18年(1943年)  
 資本金 30,685百万円  
 本社 〒105-8676  
 東京都港区西新橋1-3-1  
 従業員 1,142名(個別)8,722名(連結)

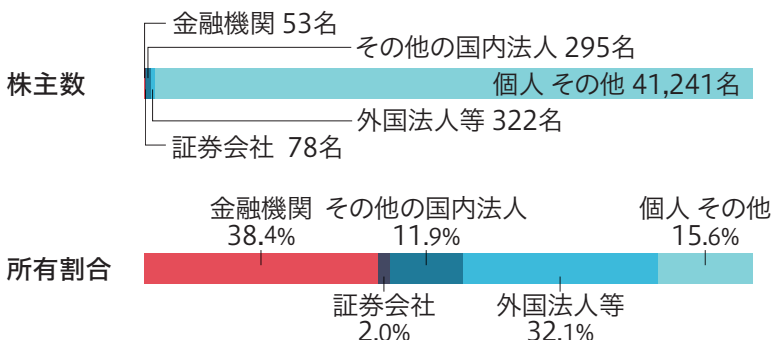
## 役員 (2017年6月28日現在)

代表取締役会長	細見 典男
代表取締役社長執行役員	大木 伸介
取締役専務執行役員	的埜 明世
取締役常務執行役員	関口 洋一
取締役常務執行役員	山本 晋也
取締役執行役員	高橋 誠治
取締役執行役員	浜田 晋吾
取締役(社外取締役)	大木 一夫
取締役(社外取締役)	横尾 敬介
監査役(常勤)	佐藤 高輝
監査役(社外監査役)	広瀬 史乃
監査役(社外監査役)	小澤 元秀
監査役(社外監査役)	伊豫田敏也

## 株式の状況

発行可能株式総数 1,000,000,000株  
 発行済株式の総数※ 311,618,830株 ※自己株式811,447株を除く  
 株主数 41,989名

## 所有者別状況



## 大株主(上位10位)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	30,407,400	9.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	23,526,600	7.53
ダイワキャピタルマーケット シンガポールリミテッド(トラストアカウント)	15,344,900	4.91
株式会社みずほ銀行	10,650,200	3.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	9,702,800	3.11
持田製薬株式会社	8,000,000	2.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	5,346,400	1.71
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	5,212,600	1.67
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,625,600	1.48
中央魚類株式会社	4,140,520	1.33

# 株 主 イ ン フ オ メ ー シ ョ ン

## 第102期 定時株主総会決議のお知らせ

2017年6月28日開催の当社第102期定時株主総会において下記のとおり報告ならびに決議されました。

### 報告事項

- (1) 第102期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- (2) 第102期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)計算書類の内容報告の件

### 決議事項

- 第1号議案 取締役9名選任の件  
細見 典男、大木 伸介、的埜 明世、関口 洋一、山本 晋也、高橋 誠治が再選され、浜田 晋吾、大木 一夫、横尾 敬介が新たに選任され就任いたしました。
- 第2号議案 監査役2名選任の件  
小澤 元秀、伊豫田 敏也が新たに選任され就任いたしました。

## 株 主 メ モ

### 株式に関するお届け先およびご照会先について



証券会社に口座を開設されている株主様は、ご照会・住所変更等のお届出は、口座のある証券会社宛にお願いします。

### 特別口座のご照会および住所変更等のお届けについて



- 特別口座(証券会社に口座を開設されていない株主様)のご照会および住所変更等のお届出は、右記の連絡先(三井住友信託銀行)にお願いいたします。
- 特別口座に記録された株式を売却するには、あらかじめ証券会社にご本人の取引口座を開設し、株式の記録を振替える必要があります。(証券口座の開設については証券会社にご相談ください。)
- 単元未満株式をお持ちの株主様は、単元未満株式を当社が買い取る制度がございます。ご希望がございましたら右記の連絡先(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会の議決権・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日

定時株主総会 毎年6月

### 公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。なお、電子公告は当社のウェブサイト(<http://www.nissui.co.jp/>)に掲載しています。

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

単元株式数 100株

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

### 同連絡先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
TEL 0120-782-031(フリーダイヤル)



# 日本水産魚譜

Nippon Suisan Gyofu

Scientific Illustrations of Food Fish of the World

ニッスイの前身である共同漁業株式会社は、1920(大正9)年、わが国初となる水産に関する民間の研究機関「早鞆(はやとも)水産研究所」を設置しました。その研究領域のひとつとして漁場調査および魚類の研究に取り組み、山口県水産試験場の技師であった熊田頭四郎(としお)氏が招聘されました。熊田氏はさまざまな漁場で漁獲した魚の天然の形態を、現場で観察してスケッチし、微細にわたって描写した図「魚譜」を作成しました。のちに有田繁・富田菊枝両氏も加わってこの活動は戦後まで続き、未完成のものも含めると千余点に上ります。

これらの「魚譜」を利用して戦前戦中には4点の図鑑が、1961(昭和36)年には日本水産創業50周年を機に『日本水産魚譜』が刊行されました。そして、創業100周年を迎えた2011年、国立科学博物館名誉研究員の上野輝彌先生、おさかな普及センター資料館館長・坂本一男先生の編著・監修のもと、新たな『日本水産魚譜』を刊行しました。

今回より、この戦前からニッスイに伝わる貴重な資料「魚譜」を表紙にあしらった株主通信をお届けします。次回以降もお楽しみいただければ幸いです。

 **日本水産株式会社**

〒105-8676 東京都港区西新橋1-3-1 西新橋スクエア

[ホームページ](http://www.nissui.co.jp/) <http://www.nissui.co.jp/>

**UD**  
**FONT**



本誌は環境へのやさしさに配慮して、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。